

平成24年度

まちの予算と仕事

5万人都市、新とみや・創造

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷
の実現へ向かって

目次

CONTENTS

- ② ——— とみやの家計簿
- ④ ——— お金の使いみち
- ⑥ ——— まちの主な仕事
- ⑫ ——— 町民一人あたりの予算
町の貯金と借金の割合

平成24年度当初予算は、2月27日に平成24年第1回富谷町議会定例会に上程され、予算審査特別委員会の集中審議を経て、3月16日に原案可決されましたので、平成24年度に行う主要事業と予算の概要についてお知らせします。

町民の皆さんに納めていただく税金や各種料金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算や総合計画の3つの将来像に沿って町が行う主な仕事をお知らせします。

問財政課 財務担当（☎358-0619）

富谷町では、自立した5万人都市と町民の皆さんが主役となる新しいまちづくりを進めるため、計画的な町政運営の基礎となる新総合計画（H21～H30）を策定し、平成21年4月からスタートしています。

まちづくりの基本理念

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷

子どもたちのための教育
環境と未来を創り出す
まち・すべての世代が生き
生きと暮らせるまち

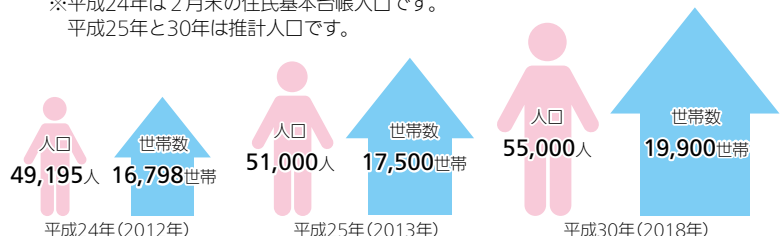
将来像

豊かな自然環境と
活力ある地場産業を
自慢と誇りにできるまち

町民と町が直接つながるあったかいまち

将来の人口と世帯数

※平成24年は2月末の住民基本台帳人口です。
平成25年と30年は推計人口です。

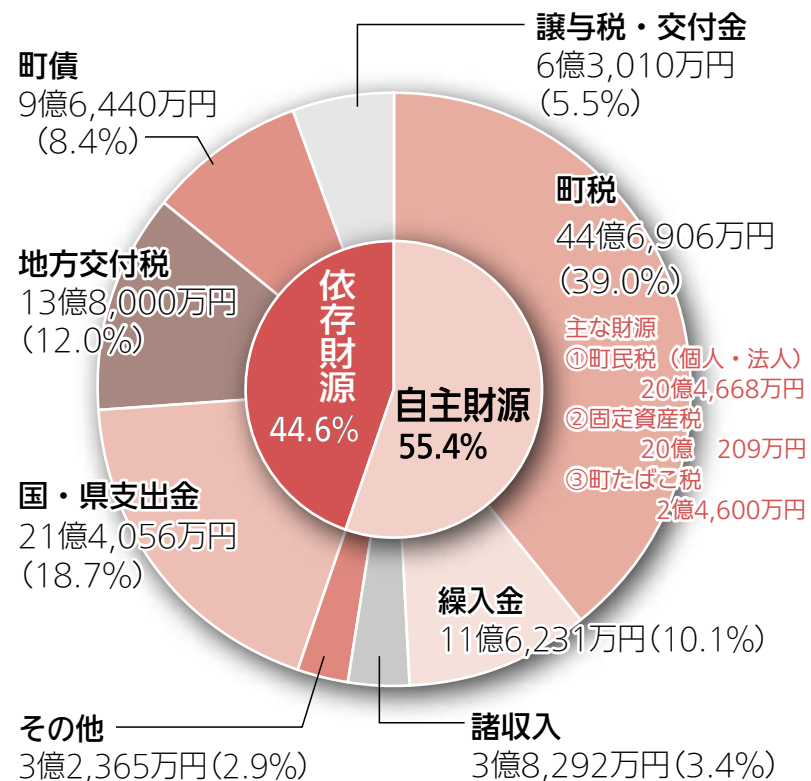


とみやの家計簿

平成24年度 一般会計予算 114億5,300万円

富谷町の予算を家計に見立てると、収入については給料収入などの自ら調達できるお金（自主財源）が全体の55.4%と、借金や仕送りなどのお金（依存財源）よりも多く、おおむね自立して生活できる状態となっています。また、支出については生活する上で必ず支払わなければいけないお金（義務的経費）が37.8%と全体の半分以上を切っており、財源を弾力的に使うことができる状態となっています。

歳入 114億5,300万円



家庭の年間収入を676万4千円と仮定すると

年間収入：676万4千円

- 給料収入(町税)……………263万9千円
- パート収入(その他)……………78万9千円
- 親からの援助
(地方交付税、国・県支出金)……………207万9千円
- 銀行からの借金(町債)……………57万円
- 貯金から(繰入金)……………68万7千円

※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の前年収入676万4千円に合わせたもの。

▶自主財源(55.4%) 63億3,794万円

地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源のこと。代表的なものは町税で、その他に諸収入、使用料・手数料、寄附金、繰越金などがあります。地方財政の自主性と安定性を確保する上では、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

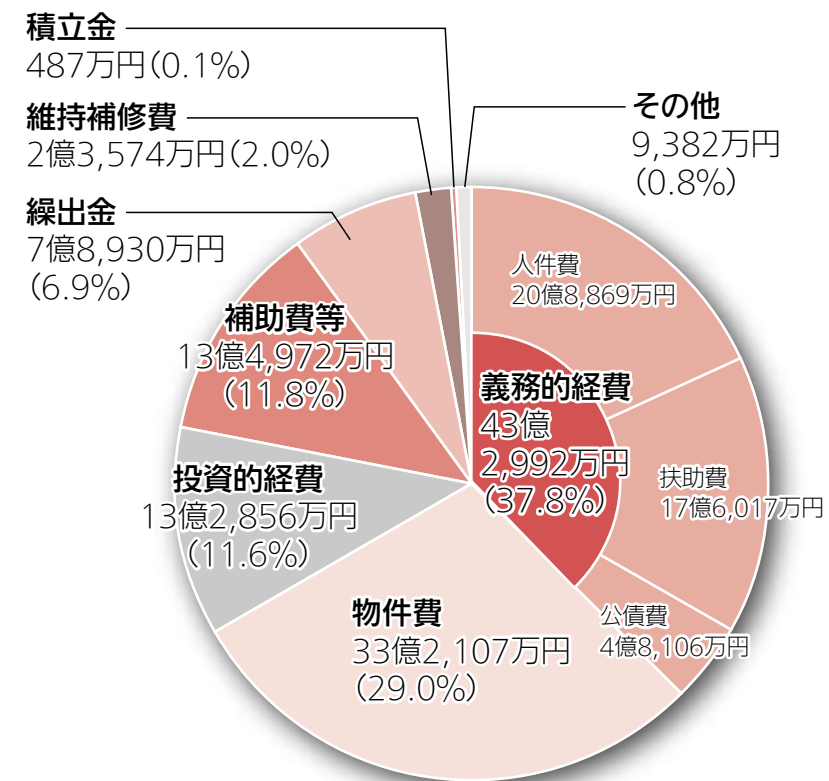
▶依存財源(44.6%) 51億1,506万円

自主的に収入できる自主財源に対し、国・県の決定や割り当てに基づいて収入するものをいいます。国・県支出金のほか、譲与税、利子割交付金等の各種交付金、町債が該当します。

用語解説

- 町税
皆さんが町に納めた税金（町民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 地方交付税
全国どこでも同じサービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。
- 町債
町が銀行等から借り入れたお金です。学校など将来にわたり利用する施設は、世代間負担の公平性確保の観点から、町債を発行して事業費に充てています。
- 繰入金
歳入の不足を補うために、基金(貯金)や特別会計から繰り入れたお金です。

歳出 114億5,300万円



家庭の年間支出を676万4千円と仮定すると

年間支出：676万4千円

- 生活費(人件費、物件費、予備費等)……325万円
- 子どもの学費や医療費
(扶助費、補助費等)……………230万2千円
- 家や車の修理代
(普通建設事業費、維持補修費)……………92万4千円
- ローン返済(公債費)……………28万4千円
- 貯金(基金)……………4千円

※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の前年収入676万4千円に合わせたもの。

用語解説

- 義務的経費
人件費、扶助費、公債費に係る経費。義務的経費の割合が小さいほど、自由に使えるお金が多く、健全な財政運営ができます。
- 物件費
賃金、旅費、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃借料などの経費。
- 投資的経費
投資的経費は資本形成のため将来に残すものとして使ったお金で、普通建設事業費、災害復旧事業費に係る経費などです。
- 補助費等
各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費。
- 繰出金
一般会計と特別会計、特別会計相互間で支出される経費。
- 維持補修費
町が管理する道路や学校などの施設の維持や修繕に係る経費。
- 積立金
基金へ積立てる経費。

予算の基礎知識

- Q 予算ってなんだろう？
- A 1年度(4月から翌年3月)に町へどのくらいお金が入ってくるのか(収入)、また行政サービスをどのように行うか(支出)を計算し、費用を見積もります。町長が予算案をつくり、町議会の審議と議決によって成立します。
- Q 一度決めた予算は、変えないの？
- A 変えられます。補正予算といいます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合等に行います。

お金の使いみち

平成24年度の一般会計予算は114億5,300万円で、昨年度と比較すると2億5,200万円の減となりました。子ども手当の実施、国の緊急雇用対策を受けて新たな事業を実施するなど、教育、福祉、安全・安心、町の活性化などの分野でさまざまな事業を展開します。町が実施する主な事業については、P6～P11で総合計画の3つの将来像に沿って紹介します。

平成24年度 一般会計の歳出額

民生費	36億7,952万円	子どもや高齢者、障がい者などの福祉のために
教育費	22億8,156万円	幼稚園や小・中学校などの教育と文化・スポーツのために
総務費	14億 905万円	交通安全や防犯、町民バスの運行のために
衛生費	13億4,125万円	皆さんの健康やより良い生活環境のために
土木費	13億3,576万円	道路や公園など、まちづくりの基盤整備のために
消防費	5億6,330万円	地域の防災や消防団の活動のために
公債費	4億8,110万円	町が借り入れしている借金の返済のために
その他	3億6,146万円	産業の発展や議会の活動のために

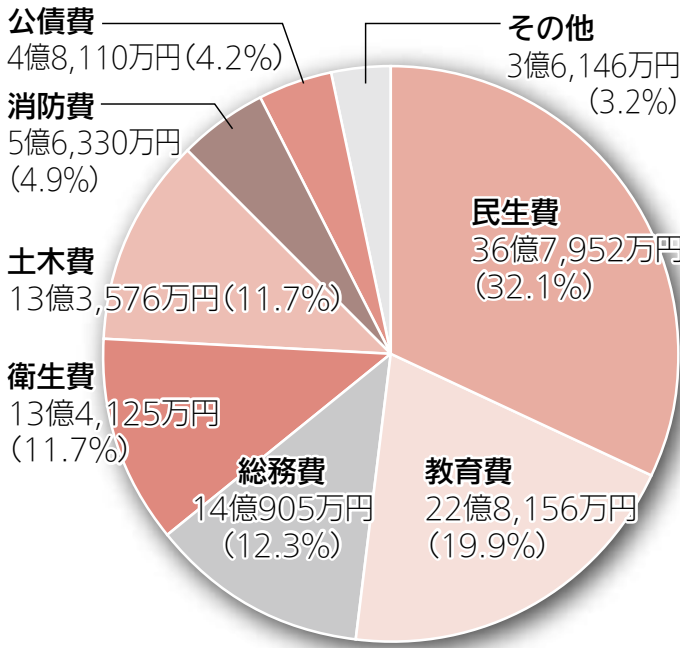
民生費 平成23年度と比較して、2億826万円減の36億7,953万円と全体の約32%を占めています。
子ども手当の支給や認可保育所への運営費の補助、明石台東地区保育所新設事業、子ども医療費助成などを行います。また、高齢者いきがい教室事業や障害者自立支援給付事業などを行い、高齢者、障がい者の福祉の向上を図ります。

教育費 3,405万円増の22億8,156万円と全体の約20%を占めています。東向陽台中学校校舎増築事業、日吉台小学校校舎増築工事設計業務などを行い、子どもたちの教育環境の充実を図ります。

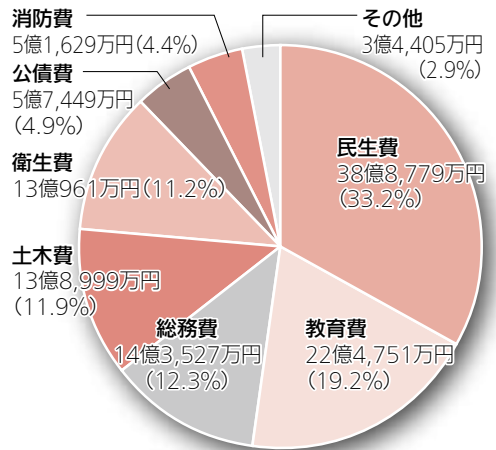
ほかに総務費12.3%、土木費が11.7%、衛生費が11.7%を占めています。



114億5,300万円



参考：平成23年度 一般会計の歳出額 117億500万円



特別会計と水道事業会計

特別会計とは、町が行う事業の中で、特定の歳入を充てて特定の目的の事業を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。
各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めてまいります。

特別会計の予算

特別会計名	当初予算額	主な内容
国民健康保険	34億7,608万円	国保医療費、特定健康診断など
介護保険	16億6,764万円	介護サービス給付費、介護予防事業など
後期高齢者医療	2億2,382万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など
下水道事業	9億5,783万円	公共下水道の整備工事など

水道事業会計の予算

区分		当初予算額
収益的収支	収入	9億7,694万円
	支出	10億8,112万円
資本的収支	収入	2,861万円
	支出	1億2,865万円

収益的収支…収入は水道料金収入が主で、支出は職員給与や固定資産の減価償却などです。
資本的収支…支出は施設の整備・拡充などの資産取得の経費です。

平成24年度に実施する まちの主な仕事

「富谷町総合計画」の3つの将来像に沿って、平成24年度に実施する主な仕事を紹介します。



将来像 1 子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

学校教育課

学校給食センター運営・維持管理事業……4億9,405万円
7,000食規模の新学校給食センターが完成し、安心・安全な学校給食を提供する施設として、4月から稼働します。

町立小学校運営・維持管理事業……2億414万円
町立小学校7校に配置している特別支援教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。平成24年度から、特別教育支援員を各校に2名から3名に増員します。

町立小学校図書推進事業……2,019万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。



日吉台小学校校舎増築事業……556万円
日吉台小学校の児童数増加に対応するため、平成25年度の増築工事に向けた設計業務を実施します。

町立幼稚園運営・維持管理事業……3,044万円
町立幼稚園2園の運営・管理費です。

幼稚園就園奨励費補助事業……9,884万円
幼稚園の入園料および保育料等を助成し、子育て家庭を支援します。

奨学金貸付事業……2,771万円
経済的な理由で修学が困難な富谷町出身の学生へ奨学金を貸し付けし、修学を支援します。

東向陽台中学校校舎増築事業……3億7,861万円
東向陽台中学校の生徒数の著しい増加に対応するため、普通教室6教室、特別教室1教室の増築工事を着工します。



町立中学校運営・維持管理事業……1億2,791万円
町立中学校5校に配置している特別支援教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。平成24年度は、特別教育支援員を各学校の状況に応じて増員します。

町立中学校図書推進事業……1,574万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。

とみや子どもまつり事業……300万円
未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、とみや子どもまつりを開催します。



子育て支援課

子ども医療費助成事業……1億5,640万円
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、入院は中学3年生まで、通院は小学3年生まで、医療費を全額助成します。

保育所運営・維持管理事業……1億6,438万円
町内4保育所の運営・管理費です。

認可保育所運営事業……3億9,380万円
認可保育所2園の運営費です。明石台若樹の森保育園の増設により、平成24年度は保育所入所定員を平成23年度より70名増で対応します。
また、保育需要の増加が見込まれる明石台東地区に、定員120名の認可保育所を新設するための準備に入り、平成25年度の開園を目指します。



認可外保育所運営費補助事業……2,350万円
認可外保育所への運営費補助です。また、認可外保育所へ入所する世帯へ保育料の一部を助成します。

子ども手当支給事業……11億6,767万円
国の制度に基づき、中学校修了前までの児童を対象に子ども手当を支給します。なお、子ども手当は児童手当同様に、町で一定の財源を負担します。
※手当の名称については、現在国会で審議中です。

あったかまちづくり推進課

十三夜 魂のふるさとまつり運営事業……900万円
ふるさと富谷の歴史と絆をつむぐ町民総参加のまつりを開催し、町の活性化とあったかな交流を推進します。



ねんりんピック運営事業……476万円
10月に開催されるねんりんピック宮城・仙台大会に向けて、準備を進めます。

町民体育祭事業……365万円
44行政区による町民体育祭を開催します。



感染症予防事業……1億3,487万円
ポリオやBCGの予防接種を実施します。また、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン予防接種は接種費用を助成し、感染予防に努めます。

妊婦支援事業……6,357万円
母親教室の開催、母子健康手帳交付時の相談事業などにより、妊婦への支援を図ります。また、妊婦健診については、14回分を公的負担します。

家庭的保育事業……2,651万円
保育者の自宅で、集団にはないきめ細やかな保育を行います。平成24年度は、新たに2名を「保育ママ」に加え、事業を実施します。

地域子育て支援事業……860万円
西成田コミュニティセンターの子育てサロンにおいて、子育てに関する相談支援や情報提供、一時預かりなどを行います。



生涯学習課

総合運動公園運営・維持管理事業……7,430万円
スポーツセンターや武道館などを運営・管理します。また、平成24年度は、ABグラウンドのフェンス設置などの工事を実施します。

図書・視聴覚教育事業……969万円
平成24年度から図書管理システムを導入し、町民の皆さんがインターネットで公民館図書室に所蔵する、すべての図書を検索できるサービスを開始します。

児童教育事業

……325万円
とみや児童クラブの運営費です。利用児童数の増加に対応するため、各クラブに児童指導員を1名増員します。



協働教育推進事業……442万円
学校教育支援（学校支援地域本部）、地域活動支援（西コミ自然ふれあい学校）、家庭教育支援（幼児学級）の3つの教育支援を実施します。

健康増進課

住民検診事業……………1億5,938万円
健幸30や各がん検診等を適正に行い、健康管理を促進します。

国民健康保険特定健康診査等事業・疾病予防事業
……………5,620万円
富谷町国民健康保険加入の方を対象に、特定健康診査や保健指導により、生活習慣病の予防や改善を図り、疾病の早期発見・早期治療・健康保持増進を支援します。

食育推進事業……………68万円
「第2期富谷町食育推進計画」に基づき、新学校給食センターの活用や農業体験教育の実施等により、食育推進を図ります。



健康づくり事業……………205万円

健康づくりの意識向上を図るため、健幸セミナーや「さあ！歩効果ウォーキング大会」など、運動機能・体力向上となる運動教室等を実施します。



健康推進員育成事業……………360万円
健康づくりに必要な知識習得のため、研修会などを開催し健康推進員を育成するとともに、健康推進員と連携し、地区健康教室を実施します。

感染症予防事業……………5,607万円
感染症疾病の予防、公衆衛生の面から子宮頸がん、高齢者肺炎球菌、インフルエンザの各予防接種費用の助成を行います。

黒川地区休日当番医事業……………246万円
黒川郡医師会と連携し、休日や祝日の当番医を設置します。

長寿福祉課

後期高齢者医療制度運営事業……………2億3,259万円
宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な運用を図ります。

高齢者在宅支援事業……………2,907万円
緊急通報システム事業、家族介護用品支給事業などを実施し、高齢者やその家族を支援します。

高齢者生きがい教室事業……………219万円
高齢者の健康保持や仲間づくり、生きがいづくり、介護予防のための各種教室を開催します。

障害者自立支援給付事業……………2億7,453万円
障がい者等が、自立した日常生活などを営むことができるように各種サービスを実施します。

心身障害者医療費助成事業……………5,084万円
心身障害者の経済的負担軽減と福祉の増進を図るため、医療費を助成します。

地域福祉フォーラム事業
……………131万円
広く地域福祉について考え、学ぶ機会とするため地域福祉フォーラムを実施します。



保健福祉総合支援センター運営・維持管理事業
……………1,399万円
障がい者・高齢者全般の総合窓口である保健福祉総合支援センターの運営・維持管理費です。



福祉健康センター維持管理事業……………964万円
高齢者の生きがいづくり、介護予防事業を行っている福祉健康センターの運営・維持管理費です。

社会福祉協議会補助事業……………1,959万円
福祉活動を展開する富谷町社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付します。

地域活動支援センター運営事業……………2,013万円
在宅の身体・知的・精神障害者が、日常生活動作の訓練や作業、地域社会との交流を通じて、自立した日常生活や社会生活を営めるように努めます。

地域生活支援事業……………2,072万円
相談支援事業や日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などにより、障害者が自立した生活を営めるよう支援します。

将来像 2

豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまちづくり

企業誘致による新たな就業の場の提供

地域資源を活かした魅力の向上

“居住の場”として選択されつづけるための環境づくり

安心して生活できる環境づくり

産業振興課

企業誘致事業……………356万円
事業所の立地を促進し、町の産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

労働雇用対策事業……………1,618万円
高齢者の就業機会拡充のため、富谷町シルバー人材センターへ補助金を交付し、運営を支援します。

中小企業制度融資事業……………3,403万円
中小企業振興資金融資をあっせんし、中小企業の経営安定を図ります。

ブルーベリー産地拡大事業……………150万円
町の特産品であるブルーベリーの消費拡大を目指し、ブルーベリースーツフェアの開催や新商品としてブルーベリーアイスの販売について、商品の具体化を進めます。



観光物産振興対策事業……………2,507万円
地場産品の新規創造と既存産品のPR活動を通して、販路の開拓を図ります。また、観光資源の発掘調査を行います。

農業振興事務……………729万円
野菜栽培農家の増加・栽培量の拡大の支援と産地直売の生産体制の充実を図るため、ビニールハウス設置工事費の助成を行います。

レクリエーション農園支援事業……………101万円
休耕田の有効活用として、レクリエーション農園を整備し、団地住民との交流を図ります。

富谷250園芸促進事業……………96万円
富谷町の立地条件を活かした農林産物の生産から販売を一体とした都市近郊農業の振興を図ります。

町有林維持管理事業……………835万円
間伐等を実施し、計画的に町有林を管理します。

松くい虫被害木伐倒駆除事業……………43万円
町有林の森林病虫害などの防除を行います。

町民生活課

一般廃棄物収集運搬処理事業……………1億7,098万円
生活ごみ等の一般廃棄物を適正に収集・運搬します。

一般廃棄物処理（仙台市委託分）事業……………1億8,839万円
生活ごみ等の一般廃棄物の処理を仙台市へ委託しています。（仙台市と共同建設した仙台松森工場で処理されています）

粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業……………2,787万円
清掃センター内の施設の適切な維持管理に努め、粗大ごみを適正に処理します。

リサイクル推進事業……………1,038万円
ビンやプラスチック製容器包装などを適正にリサイクル処理します。また、ごみの減量とリサイクルを一層推進するため、これまで燃えるごみとして収集してきた雑紙を、平成24年度から資源3種として分別収集します。

合併処理浄化槽設置事業……………1,255万円
個人が設置する合併処理浄化槽の維持管理費に対し、その一部を助成する補助金制度を平成24年度から創設します。これまでの設置費補助金と合わせて、合併処理浄化槽整備の一層の普及促進に努めます。

上下水道課

上水道施設維持管理事業
……………5,565万円
配水池などの機器や漏水している配水管を適正に点検・修繕し、水道水の安定供給を図ります。



水道用水水質検査事業……………423万円
水道用水の水質を適正に検査し、安全・安心な水道水を供給します。

漏水調査事業……………347万円
漏水を早期に発見するため、適正に調査し水道水の有効利用を図ります。

下水道本管補修等事業……………1億2,660万円
下水道本管内等をテレビカメラにより点検・調査し、修繕・改修工事等を行います。

下水道排水水質検査事業……………189万円
生活排水および特定事業所等の排水の水質検査を適正に行い、公共用水域の水質保全を図ります。

都市整備課

町道維持管理事業…………… 1億3,002万円
道路の舗装補修、街路樹の剪定、道路敷の除草などを実施し、町道を適正に管理します。

町道除融雪事業…………… 7,780万円
除雪・融雪作業により、冬季期間の町道の安全を確保します。

側溝整備

東向陽台地区…………… 3,356万円
富ヶ丘地区…………… 2,988万円
太子堂地区…………… 2,702万円



鷹乃杜地区…………… 1,006万円
仏所地区…………… 698万円
とちの木地区…………… 186万円

歩道整備

穀田地区（町道穀田線）…………… 1億4,900万円



富谷地区（仏所太子堂中線など）…………… 1億1,468万円

道路改良

大亀地区（町道沼田線）…………… 5,057万円



大童地区（町道大童今泉線）…………… 700万円

一般公園維持管理事業…………… 1億2,116万円
公園遊具や施設の点検・修繕、除草や樹木の剪定を行い、適正に管理します。

大亀山森林公園維持管理事業…………… 1,614万円
ちびっ子ゲレンデや公園遊具の補修等を行い、公園内を整備・管理します。

町営宮ノ沢住宅建替事業…………… 9,028万円
老朽化した町営宮ノ沢住宅のうち、4棟8戸の建替えを実施します。



住宅宅地震対策事業…………… 1,365万円
木造住宅耐震診断、耐震改修工事助成事業、公道に面した危険ブロック塀等除去、生け垣等の設置助成事業などにより、震災対策を支援します。

防犯灯整備事業…………… 5,294万円
防犯灯の新設と既設防犯灯の修繕を適切に行い、通学路や地域の生活道路における防犯上の安全を確保します。

道路交通安全施設整備事業…………… 4,318万円
道路区画線、反射鏡、ガードレール等の設置・修繕により、交通安全施設を適正に管理します。

河川維持管理事業…………… 490万円
河川災害防止や環境保持のため、適正な維持管理を行います。

土木総務事務…………… 761万円
東向陽台地区急傾斜地崩壊対策事業を実施します。

経営企画課

町民バス運営事業…………… 2,758万円
町公共施設を結ぶ町民バスを適正に運営します。70歳以上の方や障がいをお持ちの方、65歳以上で運転免許証を返納した方などは、運賃を無料としています。



総務課

消防団設置・運営事業…………… 1,652万円
消防団員の確保・訓練・育成等により、富谷町消防団を適正に運営します。

防災用備蓄物品等整備事業…………… 595万円
防災活動に必要な資機材や水・食料などの生活物資等を適正に整備管理します。



災害対策総務事務…………… 438万円
自主防災組織や町内会の防災活動を支援します。また、災害情報をメールにより発信し、情報体制の強化を図ります。

将来像3 町民と町が直接つながるあったかいまちづくり

住民との協働によるまちづくり

効果的・効率的な行政運営

経営企画課

行政情報紙発行事業…………… 1,421万円
広報とみや、50周年記念誌を発行し、町の施策に関する情報などを発信します。



地域情報化推進事業…………… 225万円
町公式ホームページを適正に運営・管理します。また、災害対策としてソーシャルメディアを活用した発信体制を構築します。

5万人都市推進事業…………… 150万円
自立した5万人都市を目指す自治体として、市制移行に向けた組織体制、先進自治体への視察や取組み事例などの情報収集を行います。

財政課

財政運営事務…………… 346万円
計画的・効果的な財源配分を行い、効率的な財政運営を図ります。

公有財産維持管理事業…………… 7,261万円
役場庁舎や町が所有する土地等を適正に管理します。

交通安全指導員設置・運営事業…………… 278万円
交通安全指導員の確保と交通安全知識の習得および技術の向上を図ります。

交通安全啓発・教育事業…………… 204万円
交通安全運動を実施するなど、交通安全意識を普及し交通事故のない明るいまちづくりを進めます。



総務課

自治振興事業…………… 1,511万円
地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し活動を支援します。

消費者行政推進事業…………… 73万円
平成24年度から消費生活相談を週2回行い、相談体制の充実を図ります。

税務課

固定資産税賦課事業…………… 2,020万円
納税者の正確な把握と適正かつ効率的な評価システムの構築を図り、公正で適正な町税の課税に努めます。

生涯学習課

西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業…………… 1,498万円
全町民の憩いと交流の場、コミュニティを育む学習施設として運営します。



とみやの家計簿からみる 町民一人あたりの予算

お金の使い道（P4～P5）で紹介しています
歳出状況を町民一人あたりに換算しました。
※平成24年1月1日現在の富谷町人口49,033人で換算して
います。

民生費

75,042円

子どもや高齢者、
障がい者などの福
祉のために



町民一人あたりの予算額

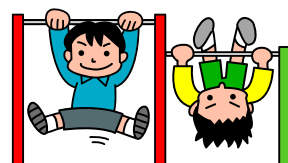
233,579円



教育費

46,531円

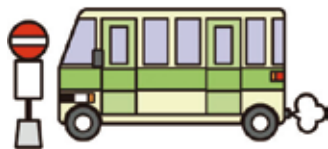
幼稚園や小・中学校
などの教育と文化・
スポーツのために



総務費

28,737円

交通安全や防犯、
町民バスの運行
のために



衛生費

27,354円

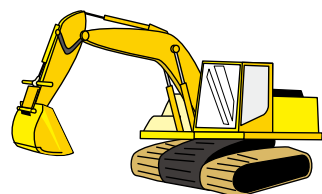
皆さんの健康や
より良い生活環
境のために



土木費

27,327円

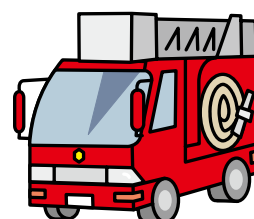
道路や公園など、
まちづくりの基
盤整備のために



消防費

11,488円

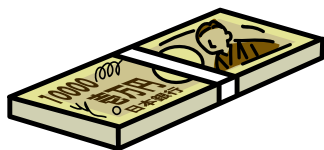
地域の防災や消
防団の活動のた
めに



公債費

9,812円

町が借入れし
ている借金の返
済のために



その他

7,288円

産業の発展や
議会の活動の
ために



●町の貯金(基金)と借金(町債) の割合

平成22年度末に比べ、給食センター建
設や震災復旧への支出に伴い、基金は減
少傾向にあります。標準的な税収に占
める借金の割合(実質公債比率)は減少し
ており、健全性は保たれています。なお、
その他の健全性を示す指標において平成
23年度も基準をクリアする見込みです。

貯金と借金の割合の推移（各年度末現在高）

